



今回のクイズは、よく知られた四字熟語です。20の四字熟語の中の空字の□に数字を入れてください。①～⑳までの数字を合計してください。その数字が答えです。ヒントは「一」の数が10個です。

◆皆さんの努力に頭が下がります
全国のたばこ屋さんの皆様、新型コロナウイルスとの戦い、本当にご苦労様です。日々感染の恐怖を感じながら、お客様のためにお店を開店され、また喫煙所を維持されているご努力には、本当に頭が下がります。

◆不要不急を楽しむ事が生きる目的
自分はこの3月に定年退職しましたが、混雑するハロウィークにも行けず、在宅を続けています。不要不急の外出はするなという政府の指示を守り、生活必需品の買い物と散歩以外は外出も避けています。

◆みんなで生き残りましょう！
PCR検査数が少なく感染の現状さえわからない状況で、これから先、緊急事態

◆不要不急を楽しむ事が生きる目的
自分はこの3月に定年退職しましたが、混雑するハロウィークにも行けず、在宅を続けています。不要不急の外出はするなという政府の指示を守り、生活必需品の買い物と散歩以外は外出も避けています。

◆不要不急を楽しむ事が生きる目的
自分はこの3月に定年退職しましたが、混雑するハロウィークにも行けず、在宅を続けています。不要不急の外出はするなという政府の指示を守り、生活必需品の買い物と散歩以外は外出も避けています。

◆不要不急を楽しむ事が生きる目的
自分はこの3月に定年退職しましたが、混雑するハロウィークにも行けず、在宅を続けています。不要不急の外出はするなという政府の指示を守り、生活必需品の買い物と散歩以外は外出も避けています。

◆不要不急を楽しむ事が生きる目的
自分はこの3月に定年退職しましたが、混雑するハロウィークにも行けず、在宅を続けています。不要不急の外出はするなという政府の指示を守り、生活必需品の買い物と散歩以外は外出も避けています。

◆不要不急を楽しむ事が生きる目的
自分はこの3月に定年退職しましたが、混雑するハロウィークにも行けず、在宅を続けています。不要不急の外出はするなという政府の指示を守り、生活必需品の買い物と散歩以外は外出も避けています。

- | | |
|---------|---------|
| 1 開口□番 | 11 □者択一 |
| 2 一期□会 | 12 二束□文 |
| 3 □網打尽 | 13 贅沢□味 |
| 4 首尾□貫 | 14 □日坊主 |
| 5 心機□転 | 15 三寒□温 |
| 6 頑固□徹 | 16 再三再□ |
| 7 三位□体 | 17 七転□倒 |
| 8 □言居士 | 18 岡目□目 |
| 9 □念発起 | 19 □方美人 |
| 10 千載□遇 | 20 四苦□苦 |

答:(空白□の数字の合計です)

★正解者の方から抽選で10名様に3000円の図書カードをプレゼント!

【応募方法】《ご注意ください!10月1日より通常はがきは63円に》
ハガキに6月号と記入の上、答え、住所、氏名、年齢、電話、所属組合、今月号の「興味があった記事」と「興味のなかった記事」を明記してお送りください。締め切りは2020年7月5日(当日消印有効)。当選者と正解の発表は本紙2020年8月号です。
★住所、氏名等は分かりやすい字で!!忘れずに!

【クイズ・お便りコーナー応募先】
〒105-0014 東京都港区芝1-6-10 芝SIAビル7階
全国たばこ新聞「クイズ」係 (☎03-3432-8346)

4月号クイズの正解と当選者

- 正解 15(6+9)
- 当選者(敬称略)
木賀 裕美(北海道・北北海道組合) 兼古 真喜(山形県・山形県組合)
富田 正(宮城県・宮城県組合) 佐藤 節子(栃木県・栃木の葉組合)
澤 澄夫(滋賀県・彦根組合) 村山 順子(新潟県・十日町組合)
柴田志津子(京都府・伏見組合) 石田 雅子(福井県・福井組合)
西元 路子(香川県・琴平組合) 中口 郁子(熊本県・天草組合)

以上10名の方が当選いたしました。おめでとうございます。
お詫びと訂正 5月号に掲載した、3月号のクイズの正解で「店舗と進捗」となっておりましたのは、「老舗と進捗」の誤りにつき、お詫びして訂正いたします。なお、正解者の答えは、すべて「老舗と進捗」となっておりましたので、申し添えます。

組合員の皆さまへ

大正製薬(株)のリポビタンDをお店で販売してみませんか。
指定医薬部外品
肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に。

お問い合わせは所属の組合まで。

リポビタンD
(株)全日本たばこ販売センター

投稿

皆様が一か月後に、この「岡目八目」を読まれている時には緊急事態宣言が解除されていることを心から願っています。
皆様が一か月後に、この「岡目八目」を読まれている時には緊急事態宣言が解除されていることを心から願っています。

小売店は危篤状態!!

また、ストレス発散や癒し効果などの、たばこの効用は様々なのに、そうした効用に頼り過ぎて、殆んど取り上げられませんか。
今、たばこ小売店の売上は、軒並みダウン。以前の90%減となっている店も多いと聞きます(私の店もそうです)。しかし、国や自治体からの支援などありませぬ。たばこ税を前納し、国や自治体の財政の一翼を担って

何故?店頭の灰皿まで...

首都東京は、新型コロナウイルスの影響が最も大きいと言えます。したがって、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も、かなり厳しい緊急事態措置が取られています。様々なこと、自粛など、こうした状況下では仕方がないことだと思えます。

は、基本的には喫煙マナーを守って一服する人たちだと思っております。4月の改正健康増進法の施行に加え、今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の名のもとに行われる喫煙規制の強化により、愛煙家のみなさんは、益々、たばこを吸う場所を奪われており、たばこ屋も、ただでさえ落ち込んでいます。更に落ち込んでいます。

恐らく、新型コロナウイルスは、しばらくじつと我慢をしなければ収まってくると思いますが、10月には、たばこ税の増税が待ち構えており、喫煙規制は益々厳しくなることが予想されます。議員のみなさまにお願いです。どうか、危篤状態にある、たばこ小売店をはじめ、たばこ耕作農家や愛煙家のみなさまを助けてください。(徳島県・石原 恵津子)

くさる議員さんもいます。様々な場面での活躍は、たばこ新聞でもたびたび掲載されており、とりわけ私が感激したのは、「禁煙より分煙を。目指せ、分煙先進国!」というスローガンと「地方たばこ税を活用した分煙環境整備」に関する活躍です。今、毎年の値上げ、改正健康増進法の施行による喫煙規制の強化、そして新型コロナウイルスの影響などで、たばこ小売店は危篤状態です。

(東京都匿名希望)